



校長室だより  
丹波市立進修小学校 2024.11.5

## 親子対話 ご協力ありがとうございました

授業で学んだことをお家でお子様と一緒に対話されて、感想を書いて提出していただきありがとうございます。ほとんどすべての保護者の方が提出してくださり、皆様のご協力で心から感謝申し上げます。人権教育は、いくつになっても大事なことで、大人が学び続ける姿勢を持つことで子どもたちも真剣に学びに向かうことができます。

人権教育で大切にしていることは、

### ・正しいことを知る

正しい知識を学ばなければ間違った偏見やうわさを信じてしまいます。まずは、知ることです。

### ・気づく力をつけること

何が正しくて間違っているのか気づく力を持つことです。

### ・行動する

そして、間違いに対して何らかの行動ができる力をつけていきたい

小学校では、人権教育や道徳科で学ぶべきカリキュラムはたくさんあります。人権参観日には、同和教育を中心とした内容を参観してもらっています。今回5年生においては、ジェンダー教育を実施しました。もちろんカリキュラムとしてどの学年においても、同和教育、ジェンダー教育どちらも取り組んでいます。

6年生では、人権総合として、部落差別がなぜ起こったのか歴史的な背景も含めて時間をかけて学んでいます。また、1学期には春日地域の6年生が全員集まって、細田哲子先生から部落差別をはじめとする人権について話を聞いてから、各校で人権について学んでいます。学んだことを2月に6年生担任で交流し、中学校へつなげていきたいと思っています。

細田先生が人権交流会で6年生に話していたことで大切なことを次に書いておきます。

### 3つの原則

#### ① するをゆるさない

差別(いじめ)は無条件でだめだということ

こういう理由があったという弁解は通用しない

#### ② 「される」を責めず

差別はされる人がいるからあるのではなく、差別する人がいるからである。

#### ③ 「傍観者」なし

差別には中立ということがない

差別するあるいは見逃すか 差別を許さないかどちらかしかない

今後も学校では、人権教育を進めていきます。そして、保護者の皆様と一緒に、子どもたちに人を大切に思う心を育てていきたいと思っています。よろしくお願いします。